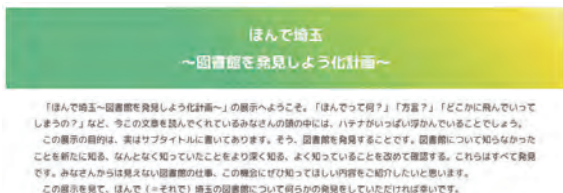


公共図書館部会による展示

ほんで埼玉

～図書館を発見しよう化計画～



■はじめに

この WEB 展示を作成するにあたり意識したのは、読んで楽しめるものにするということでした。展示のテーマを「図書館を発見すること」に設定し、普段は入ることができない場所やみなさんに知ってほしい図書館の仕事を紹介するという内容にしました。

■構成について

WEB 展示の構成は以下のとおりです。

- ・図書館にある機械
- ・はたらく くるまち
- ・つながり助けあう埼玉の図書館
- ・郵便物が図書館の資料に!?
- ・図書館の資料になるために
- ・普段は入れない部屋と、そこにあるもの
- ・図書館サービスにおけるミッションの事例
- ・図書館は 便利なツールを 作ってる
- ・おわりに

普段見ることができないものとして、図書館にある機械を最初に紹介しました。

次に「運ぶ」というテーマではたらくくるま、図書館協力ネットワーク、郵便物の項目を並べました。郵便物がどうなるのかということ「図書館の資料になるために」の項目で紹介し、本以外の図書館資料を知ってもらうために「普段は入れない部屋と、そこにあるもの」の項目で映写室と 16 ミリフィルムを取り上げました。

「図書館サービスにおけるミッションの事例」と「図書館は 便利なツールを 作ってる」の項目は、みなさんから見えないところで図書館

はどういうことを考え、どういう仕事をしているのかを知ってもらいたくて作成しました。この WEB 展示でご紹介したのはあくまでひとつの例なので、お近くの図書館ではどういうことをやっているのかも興味があれば見てみてください。

■工夫した点

この WEB 展示は、ブログを書くようなイメージで作成しました。読んで楽しめるように文章をメインにし、写真があったほうがわかりやすいところには写真を入れました。また WEB 展示では動画を入れることもできるため、本をフィルムコーティングするときの様子を撮影した動画を入れました。

公共図書館部会の展示であるため、紹介する内容が特定の図書館のことに偏らないよう留意しました。どこの図書館で働いている人でも、読めば思い当たることがあるという展示を目指しました。図書館ではよくあることだけど、それを知らない人が見れば発見になるという展示を理想とし、様々な人が読むことを想定して親しみやすい文体にしました。この展示を見たことで、図書館について何らかの発見をしてくれていたら嬉しいです。

■おわりに

今回は県立図書館の職員のみで展示を作成することになりましたが、来年はぜひ市町村立図書館の職員とも協力して作成したいと思います。

最後になりましたが、この展示を作成するにあたってご協力いただいたみなさま、この展示を見てくださったみなさまに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

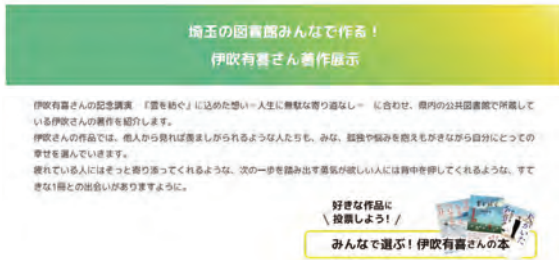
(記録：埼玉県立熊谷図書館 小柳 直士)

埼玉の図書館みんなで作る!

伊吹有喜さん著作展示

例年会場で行われている著作展示もウェブページでの開催となりました。来場者に実際に手に取ってもらうことができない環境で、どのように「展示」するのか頭を悩ませましたが、以下のとおり「伊吹有喜さん著作一覧」、「伊吹有喜

さんの作品をよもう」の2段構成としました。



前半の「伊吹有喜さん著作一覧」では、令和3年12月時点で出版されている著作、第三回ポプラ社小説大賞特別賞を受賞したデビュー作の『風待ちのひと（2008）』をはじめ、ドラマ・映画化された『四十九日のレシピ（2010）』や、直木賞候補となった『ミッドナイト・バス（2014）』『彼方の友へ（2017）』『雲を紡ぐ（2020）』など、14作品について、書誌情報や書影に、物語のあらすじをまとめた100文字程度の紹介文を併せて掲載しました。

後半の「伊吹有喜さんの作品をよもう」では、紹介した著作を実際の利用につなげるための情報をいくつか掲載しました。

まずは、著作展示をご覧になった方が、図書館で読みたい著作の所蔵の有無を確認できるよう、県内の公共図書館等の蔵書を一度に検索することができる「埼玉県公共図書館横断検索」のウェブサイトを紹介しました。

また、著作リストを作成し、PDFファイルダウンロードできるようにしたり、県立久喜図書館で実施した著作展示の様子を紹介したりし、ウェブから実際に図書館へ足を運んでもらえるようなページの構成にしました。

そのほかにも、参加型のコンテンツとして「みんなで選ぶ！伊吹有喜さんの本」と題し、ウェブアンケートツールを用いた人気投票を12月11日から翌年1月3日まで実施しました。結果は以下のとおりです。

- 1位『雲を紡ぐ』
- 2位『四十九日のレシピ』
- 3位『彼方の友へ』

『今はちょっと、ついてないだけ』

たくさんの投票とともに皆様の熱い思いが伝わるコメントをいただきました。

最後に、オンラインで開催した展示をご覧いただいた皆様に心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

（記録：埼玉県立久喜図書館 小林 千草）

ブックケア 未来へつながる保存の技術

オンライン開催のため、ブックケアでは、動画も活用しWEB展示を行いました。



埼玉県立図書館では、修理の材料や道具、基本的な修理方法について、イラスト付きで分かりやすくまとめたチラシを作成し、『本の修理きほんのき』と題して、11項目に分けて概要を説明しています。

「ブックケア」のWEB展示では、この「きほんのき」のPDFファイルに加え、7本の動画や4つの補足資料を用いて、基本的な修理の方法や材料、道具などについて紹介しました。

掲載した動画は、日頃から県立久喜図書館で補修作業を行っているボランティアの協力も受けて、手元のみを撮影し、作成しました。

<ブックケアWEB展示概要>

きほんのき	動画	資料
その1 本のなりたち		○
その2 とりあつかい		外部リンク
その3 道具のこと	○	
その4 材料のこと	○	
その5 やぶれをなおす	○	○
その6 かたちをなおす		○
その7 ページがとれたら		外部リンク
その8 ページがとれたら2		○
その9 表紙がはずれたら	○	
その10 ステップアップ		外部リンク
プラス1 平綴じ	○	
糸の通し方	○	
製本の流れの紹介動画	○	

<「きほんのき その9」の動画>



動画の無いものについては、リンクステッチの方法ややぶれの補修方法を紹介した PDF ファイルのほか、以下に紹介するような外部リンクによって補足の説明をしています。

*「日頃からできる本のケア」（埼玉県立図書館）

<https://www.lib.pref.saitama.jp/guide/hozon/post-6.html>

*「動画で見る資料保存：簡易補修」（国立国会図書館）

<https://www.ndl.go.jp/jp/library/training/remote/minorrepair.html>

なお、『きほんのき』は埼玉県立図書館ウェブサイトでも掲載しています。ぜひご覧ください。
<https://www.lib.pref.saitama.jp/guide/hozon/gizyutu.html>
(記録：埼玉県立久喜図書館 松山 裕輝)

読書のバリアフリー資料展

障害者サービス用資料について多くの方に知っていただくため、2017年から毎年「図書館と県民のつどい埼玉」に参加しています。今年は会場ではなくオンラインなので、関係ウェブサイトへの誘導も念頭に置いて展示を展開しました。以下、読書のバリアフリー資料展の概要を報告します。

■文字を大きく

大活字本・拡大写本と、拡大読書器を紹介しました。そのままの文字では読みづらくても、大きさやフォント等を工夫することで読みやすくなる場合があります。

■やさしく読める

LL ブックを紹介しました。LL とは、スウェーデン語の Lättläst の略語で、「やさしく読める (easy to read)」という意味です。LL ブックは、

「ハートフルブック」というウェブサイトにもサンプルがあります。<https://heartfulbook.jp/>

■耳で読む・指で読む

音声デジター、点字、ユニバーサル絵本を紹介しました。デジターは、アクセシブルなデジタル録音図書で、CD1枚に 50 時間以上を収録することができます。点字は印刷すると量が多くなりますが、最近では印刷する前の点字データをパソコン等で読む人が増えています。ユニバーサル絵本は、点字や絵の形に凸凹がついていて、目が見える人も見えない人も、一緒に楽しめる本です。

■さわって楽しむ

布の絵本を紹介しました。台紙が布でできていて、ボタンやファスナー等で取り外したり、動かしたりすることができます。「ぬののえほん」というウェブサイトで、さまざまな布の絵本を紹介しています。
<https://www.bf-ehon.net/nunonoehon>

■読む場所がわかる

マルチメディアデジターとリーディングトラッカーを紹介しました。読む場所の色を変えたり、隣の行を隠したりすることで、集中して読書を楽しめます。マルチメディアデジターの再生動画と教科書についてもリンクで紹介しました。

『ごん狐』

<https://www.youtube.com/watch?v=c4zqmWJm3Zk>

■もっと知りたい

文部科学省と厚生労働省で作成したリーフレットも参考になります。「誰もが読書ができる社会を目指して～読書のカタチを選べる「読書バリアフリー法」～」

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_01304.html

今回の「読書のバリアフリー資料展」でご紹介した資料は、埼玉県立久喜図書館で所蔵しています。ご不明な点がありましたら、埼玉県立久喜図書館バリアフリー読書推進担当までご相談ください。

<https://www.lib.pref.saitama.jp/guidance/spnd/index.html>

(記録：埼玉県立久喜図書館 大島 恵津子)